

## 松江市子ども・子育て支援事業計画の概要

### 1. 計画期間

平成 27 年度～平成 31 年度（5 年間）

### 2. 計画策定の趣旨

平成 24 年 8 月に成立した「子ども・子育て関連 3 法」に基づき、幼児期の学校教育と保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て支援新制度」が平成 27 年 4 月 1 日から本格施行します。

平成 22 年 3 月に策定した「松江市次世代育成支援行動計画（後期計画）」を継承し、良質で適切な子ども・子育て支援を総合的かつ効率的に提供できるよう、松江市の実情に応じた計画を策定します。

### 3. 計画の基本理念 『みんなで子どもを<sup>はぐく</sup>む “子育て環境日本一・松江”』

### 4. 計画の基本目標

- 1 子どものための教育・保育の充実
- 2 子どものための保護者支援
- 3 子どものための安全・安心の環境づくり
- 4 地域や企業とともに取り組む子育て環境の向上

### 5. 計画の位置付け

- 子ども・子育て支援法第 61 条第 1 項に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」です。
- 「松江市総合計画」及び「松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を上位計画とします。
- 「松江市次世代育成支援行動計画（後期計画）（平成 22 年 3 月）」の基本的な考え方や内容を継承します。
- 次世代育成支援対策推進法第 8 条に基づく市町村行動計画、及び市町村母子保健計画（平成 8 年 5 月 1 日児母第 20 号厚生省児童家庭局母子保健課長通知）を兼ねます。
- 本市の子どもと子育てにかかわる施策を体系化し、保健・医療、福祉、教育、労働、まちづくりなどの様々な分野にわたり、総合的な展開を図ります。

### 6. 計画の対象

18 歳未満の子どもとその家庭を対象としています。

（一部の施策については、次代の親づくりという視点から、今後親となる若い世代も対象としています。）

### 7. 計画の体系及びポイント

[ポ]ポイント

#### 1 子どものための教育・保育の充実

子どもが自己を確立し、思いやりと豊かな心を持った人間として成長できるよう子どものための保育・教育の充実に取り組みます。

（1）質の高い就学前の保育・教育の提供

[ポ] 平成 29 年度に年度途中の待機児童解消を目指します

- 私立保育所に、待機児童解消のために保育士を確保する経費を助成。

[ポ] 保育・教育の質の向上を図ります

- 保育所や幼稚園への訪問指導や、職員研修実施等を実施します。

（2）就学前教育から小学校教育への円滑な接続の促進

[ポ] 市内の保育所・幼稚園で同じ視点をもって子どもを保育・教育を行い、幼児期の教育の充実と小学校への滑らかな接続を図ります

- 「松江市保幼小接続カリキュラム」を実践します。

(3) 地域の教育力を活かした学校教育の充実

**[ポ] 小中一貫教育（学園教育）を推進します**

○ 学園（中学校区）ごとに校区の特色を生かし、地域・保護者と協働して小中一貫教育を推進します。

(4) 学校教育等における人権教育 (5) 乳幼児期から心とからだを育む体験の充実

(6) 食育・歯育の推進 (7) 青少年の育成

## **2 子どものための保護者支援**

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行うことによって、子どもを安心して産み育てることができる環境をつくります。保護者が子育てについての責任を果たすことが可能となり、子どもの健やかな育ちに結びつくよう保護者支援を行います。

(1) 親子の健康づくり

**[ポ] 切れ目ない妊産婦・乳幼児への支援**

○ 妊産婦健診を14回助成。

○ 母子保健コーディネーターによるサービス調整・総合的な相談対応。

(2) 地域子ども・子育て支援事業の充実

**[ポ] 利用者支援事業を実施し、本市の充実した子育て支援事業を保護者が円滑に利用できるよう取り組みます**

○ 保育・教育施設や子育て支援事業の利用について相談に応じ、助言を行います。

**[ポ] 児童の健全育成・保護者の就労支援のため児童クラブを実施します。**

○ 多様化する保護者ニーズに対応するため、時間延長など必要なサービスを提供します。

(3) 特別な支援が必要な子どもに対する支援体制の充実

**[ポ] 教育・保健・福祉・医療等が連携した相談支援体制の充実**

○ 関係機関が情報を共有し、乳幼児期から青年期に向けた一貫した早期発見・相談支援体制をつくります。

(4) 家庭や地域の子育て力向上 (5) 保護者負担の軽減 (6) 結婚対策の充実

## **3 子どものための安全・安心の環境づくり**

すべての子どもが安心して生き、守られ、育つ権利が尊重された環境づくりを進めます。虐待、貧困など支援の必要性が高い子どもやその家族への援助、子どもを犯罪から守るための活動などを行います。

(1) 大人に対する子どもの人権尊重の啓発 (2) 児童虐待防止

(3) ひとり親家庭の自立支援の推進 (4) 貧困世帯の子どもへの対応

(5) 子どもを犯罪などの被害から守るための活動

## **4 地域や企業とともに取り組む子育て環境の向上**

行政はもとより、企業や地域を含めた社会全体で、子育て中の保護者に寄り沿い支えていく取り組みを進めます。

(1) 子どもと子育てを地域で支える取組の促進 (2) 遊び場・生活環境の充実

(3) 企業における仕事と子育ての両立支援 (4) 男性の育児参加促進